

平成30年9月秋田市議会定例会一般質問者順序

秋 水 会 細 川 信 二

そ う せ い 藤 田 信

市 民 ク ラ ブ 見 上 万 里 子

公 明 党 松 田 豊 臣

社 会 ・ 市 民 連 合 工 藤 新 一

秋 水 会 川 口 雅 丈

そ う せ い 齊 藤 勝

秋 水 会 菅 原 琢 哉

秋 水 会 工 藤 四 郎

1 イービス・アショアについて

- (1) 地域住民から提出された配備計画の撤回を求める要望書について、どのように受けとめているのか
- (2) 市民の不安が解消されないまま、新屋演習場における各種調査等が行われ、適地と判断された場合、どのような対応をするのか

2 秋田市立地適正化計画と都市内地域分権について

- (1) 土崎及び新屋地区は古くから本市発展の中核を担ってきた地区であると思われるが、同計画を推進する上で、両地区のこれまでのまちづくりの経緯と現状を把握しているのか、また、今後の本市のまちづくりにどのように生かそうと考えているのか
- (2) 本市のコンパクトシティの考えは市民に浸透していないと思われるが、今後、コンパクトシティの周知をどのように進めていくのか
- (3) 市内7地域の特色をさらに明確にした上で、本市が描くまちづくりを示すべきと考えるがどうか
- (4) 今後、市民サービスセンターへの権限移譲をどこまで行うのか、また、権限移譲が進めばますます業務がふえると思われるため、職員数をふやすべきと考えるがどうか

3 小・中学校の適正配置について

- (1) 地域コミュニティの核でもある小中学校の統廃合は、地域のまちづくりや、住民感情にも影響を与えると思われるが、どのような覚悟を持って適正配置を進めていくのか
- (2) 学校適正配置案の策定に当たって、市民説明会で聞き取りした保護者の意見にはどのようなものがあり、どのように反映するのか、また、将来の受益者である未就学児の保護者の声をどのように聞いていくのか
- (3) 伝統文化が異なる地域の学校を統廃合することにより、地域の伝統

芸能の継承等に影響が出てくることも予想されるが、適正配置の検討に際し地域の伝統文化をどのように加味するのか

- (4) 統合後の校舎及び廃校舎の活用についてどのように考えているのか、また、将来的には建てかえ時期等も重なってくることが想定されるがどうか

4 子供たちの学びの環境整備と子育て支援の充実について

- (1) 今後、国の幼児教育・保育の無償化が進むことで、現在、本市が行っている保育料無償化等にかかる経費の負担が軽減されるが、少子化対策として軽減分の財源を新たな子育て支援へ活用すべきと思うが考え方はどうか

- (2) 保育士の人材確保について

ア 保育士確保のために行っている施策の成果はどうか、また、今後の新たな施策の展開についてどう考えているのか

イ 保育士のスキルアップのために、積極的に研修に参加できるような環境づくりを関係機関に働きかけるべきと思うがどうか、また、本市独自の開催も必要と思うがどうか

ウ 保育士不足へ対応するため、新たな形の人材バンクを創設する考えはないか

- (3) 放課後児童クラブについて、地域によって利用できない児童がいるなど課題も多いが、利用状況の把握と今後の対応についてはどうか、また、学校教室等を活用したクラブ運営ができるよう環境整備も検討するべきではないか

- (4) 病児・病後児保育事業及び私立保育所等障がい児保育事業について

ア 病児・病後児保育事業の病児保育について、利用者が少ない現状をどう認識しているのか、また、今後、利用促進にどのように取り組んでいくのか

イ 障がい児保育に対する保育士加配の補助金増額については、積極的に進めるべきと考えるがどうか

- (5) 保育施設の兄弟入所については、優先して同一の施設に入所できる

よう配慮が必要と考えるがどうか

(6) SNSや携帯アプリなどを活用した子育て支援について、本市の検討状況はどうか

(7) 秋田っ子まもるメールについて、ブラッシュアップを行うべきと思うがどうか

(8) 子ども未来部は、業務量に比して職員数が不足していると思うが、職員をふやす考えはないか

5 文化振興について

(1) 本市の文化振興に貢献する企業に対し、認定企業とする制度を設ける考えはないか

(2) 県・市連携文化施設について

ア 文化会館機能の確実な継承とは、新施設においてどのようにあらわされるのか

イ 同施設運営管理計画の策定に当たっては、素案作成のためにワークショップの参加者を公募し実務レベルの声も聞いているとはいうものの、さらに専門的知識を有した者からの意見を反映できるよう努めるべきと考えるがどうか

6 交通施策について

(1) 高齢化等に伴い交通指導隊員が年々減少しているが、隊員の確保についてどのように考えているのか

7 秋田港周辺の観光振興について

(1) クルーズ船来航時等の対応について

ア 中心市街地以外での観光面での施策の展開について、どのように考えているのか

イ 道の駅あきた港のイベント広場を臨時駐車場として使えるよう、県に働きかけるべきと考えるがどうか

(2) 釣り公園として試験開放が行われた秋田港北防波堤について、どう

評価しているのか、また、今後の観光にどう生かそうとしているのか

1 ワーク・ライフ・バランスについて

(1) ワーク・ライフ・バランス推進の取り組み状況について

ア これまでの取り組みをどう評価しているのか

イ ワーク・ライフ・シナジーの理解促進のための取り組み状況はどのようなになっているのか

ウ だれもが仕事と生活の両立ができる社会の実現に向けて、子育て応援リーダー宣言を、介護や治療など働き方に制約を抱える方々をも含むものに発展させる考えはないか

(2) 市の発注業務を通じたワーク・ライフ・バランス等の推進について

ア 少額随意契約を行う場合における秋田市元気なまちづくり企業1者以上を見積先とする取り組みの検討状況はどのようなになっているのか

イ 建設工事の発注において、週休2日制を導入する上での課題は何か

ウ 債務負担行為の活用などにより、施工時期のさらなる平準化を進めるべきではないか

(3) 秋田市特定事業主行動計画（第3期改訂版）による取り組みについて

ア 同計画に定める目標の達成状況をどう評価しているのか

イ 複数人で対応できる業務体制構築の状況はどのようなになっているのか、また、効果についてはどうか

ウ 男性の育児休業取得率の目標値を、毎年10%から毎年100%に上方修正し、意識面の課題を克服する必要があると考えるがどうか

エ 長時間時間外勤務の状況はどのようなになっているのか、また、時間外勤務縮減のため、勤務間インターバル制度の試行のほか、土日連続勤務や深夜の時間外勤務の禁止、残業時間の上限設定、時差勤務・時短勤務を推進していく考えはないか

オ 年次有給休暇の取得促進の取り組み状況はどのようなになっている

のか

2 教職員の働き方改革について

- (1) 中央教育審議会の学校における働き方改革に関する中間まとめや県教育委員会の2018教職員が実感できる多忙化防止計画を踏まえ、働き方改革にどのように取り組んでいくのか、また、市として多忙化改善のための計画を策定すべきではないか
- (2) 月80時間を超えて時間外勤務をする教職員をゼロにする目標を設定すべきではないか
- (3) ICTや非常勤スタッフ、外部人材の活用など新たな取り組みとして考えているものはあるのか
- (4) 教育職員へ時間外勤務手当及び休日勤務手当を支給しないことを定める公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法のあり方をどのように考えているのか、また、国に法改正を要望する考えはないか

3 子育てしやすい環境づくりについて

- (1) 放課後児童対策について
 - ア 児童厚生員の配置状況について、処遇改善や勤務形態の見直しにより改善されているのか、また、今後の見通しはどうか
 - イ 土曜日や小学校の長期休業中に児童館の開館時間を早める考えはあるのか
 - ウ 放課後児童クラブの新設等の受け皿確保の状況はどうか、また、施設の増改築による定員拡大の見通しはどうか
- (2) 病児・病後児保育について
 - ア 病児保育及び病後児保育の利用状況はどうか、また、施設や利用定員をふやす考えはないか
 - イ 各施設の病後児保育の利用連絡票を、施設間で共用できるようにする考えはないか
- (3) 骨髄移植手術等により定期予防接種で獲得した免疫が失われた場合

の再接種について

ア 再接種の必要性についてどのように考えているのか

イ 医師の判断により再接種が必要と判断された者に対して、接種費用を助成する考えはないか

ウ 予防接種による健康被害に対する補償制度も含め、定期予防接種と同様の取り扱いとするよう国に制度改正を要望すべきではないか

4 児童生徒の安全確保について

(1) 関係閣僚会議で登下校防犯プランが決定されたことを受け、登下校時の安全確保に具体的にどのように取り組んでいくのか

(2) 帰宅後や長期休業中の外出時の安全確保にどのように取り組んでいくのか

(3) ICTを活用した先進的な取り組みを調査・研究し、児童生徒の見守りシステム導入について検討すべきではないか

5 自転車活用の推進について

(1) 本年6月の自転車活用推進計画の閣議決定を受け、自転車活用推進法第11条に定める市町村自転車活用推進計画の策定にどのように取り組んでいくのか

(2) コミュニティサイクル導入の検討状況はどのようなになっているのか、また、導入の際には、利用者の利便性向上のため、他の地方公共団体の貸し出し・返却システムとの共同化を検討すべきではないか

(3) 自転車に関与した事故の状況はどのようなになっているのか、また、自転車の安全利用とあわせ、条例等により損害賠償責任保険等への加入促進を図る考えはないか

6 防災対策について

(1) 災害時の避難行動を妨げる正常性バイアスなどの心理特性について、住民への意識啓発などの対策が必要と考えるがどうか

(2) 災害時には指定避難所となる小中学校などへ、停電時に電力供給も

可能なガスヒートポンプエアコンの導入を検討すべきではないか

1 本市への移住について

- (1) 本市への移住者数は、秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略の目標を達成したようだが、どのような取り組みの成果によるものかとらえているのか
- (2) 県内外からの移住希望者向けに、本市に住むメリット等を記載したパンフレットを作成し、暮らしをイメージできるよう、広く民間を巻き込んだ取り組みをしてはどうか

2 ホームページ等について

- (1) リニューアルした本市ホームページに対するアクセス数の増減やユーザビリティに関する反応等をどのようにとらえているのか
- (2) 市のホームページにおいて、専門的な内容を市民にわかりやすい表現で伝えることが重要と考えるが、今後のホームページの内容の充実をどのように考え、その更新をどのような体制で取り組んでいくのか
- (3) 秋田県立金足農業高等学校野球部の甲子園での活躍時において、本市ツイッターの活用や反応はどうであったのか、また、ツイッターなどのSNSの活用については、市民の共感を得られるような内容とするよう、今後、この経験を生かすべきではないか

3 人事行政について

- (1) 「地方公務員が本当にすごい！と思う地方公務員アワード」に推薦できるような人材は本市にいるのか、また、今後そういった人材を育成する取り組みを行う考えはないか
- (2) 秋田市人材育成基本方針にある自己啓発の支援について、より多くの職員が自己啓発に取り組みやすくするため、奨励策を充実させるべきと思うがどうか
- (3) 外国人観光客に対する情報発信や取り組みなどのため、外国人を職員として採用してはどうか

4 本市施設の駐車場の整備について

- (1) 市役所の駐車場は、動線がわかりにくく、駐車場整理員がいないとスムーズに利用できない状況であることから、駐車場整理員がいなくてもスムーズに駐車できるように整備するべきではないか
- (2) 中央図書館明徳館の駐車場の混雑緩和のため、自転車置き場の一部を駐車場として整備してはどうか
- (3) 秋田市老人福祉センター前の緑地を見直し、駐車場として整備してはどうか

5 スポーツ振興について

- (1) 総務省統計局の調査から算出した25歳以上のスポーツ人口は、秋田県が46位となっているが、生涯スポーツ人口をふやすための取り組みをどう考えているのか
- (2) 同調査において、生でスポーツ観戦するランキングでは秋田県が11位となっていることから、スポーツ観戦しやすい環境をさらに整備していくべきではないか

6 秋田市卸売市場について

- (1) 同市場の今後の整備のあり方を考える際には多角的な視点で検討するべきと考えるがどうか、また、防災機能の充実など、公設である意義をどのように考えているのか

7 福祉行政について

(1) 認知症について

ア 本市の認知症高齢者の徘徊の現状把握をどのように行っているのか

イ 認知症の人を対象にした賠償保険について検討してはどうか

(2) 介護保険について

ア 要介護・要支援の要介護認定にどのくらいの期間を要するのか、

また、重篤な病状で、緊急対応が必要な方の要介護認定はどのように行っているのか

8 市営墓地について

- (1) 合葬墓の希望者が殺到しているが、合葬墓の申請について、市営墓地内の「墓じまい」をする人を優先してはどうか
- (2) 市営墓地を希望する市民から聞き取りを行い、市民ニーズを把握した上で、今後の市営墓地の整備内容を検討してはどうか、また、共同墓など、新たな墓地形態も導入してはどうか

9 児童館の整備について

- (1) 子供の居場所である児童館の今後の建てかえや施設の維持をどのように図っていくのか
- (2) 広面小学校のような現地建てかえにさまざまな制約が想定される児童館について、どのように対応するのか

10 除排雪について

- (1) 降雪の状況や地域の実情に応じた除排雪をスムーズに行うためには、市民への説明など、市と業者が十分にコミュニケーションをとるべきと考えるが、今冬の対応をどのように考えているのか

11 公金の取り扱いについて

- (1) 地方自治法施行令において、会計管理者は指定金融機関等に対して、公金の収納、支払い事務、預金の状況を検査しなければならないとなっているが、いつ、どのように行っているのか

12 イービス・アショアの配備候補地について

- (1) 防衛省に対し、ほかに適地がないか再調査すべきとの要請をしたところであるが、適地とする要件として、住宅地に近接していないことを加えるよう要請すべきではないか

1 イーリス・アショアの配備について

- (1) 防衛省は、県や市、県議会、市議会、市民に対して説明を行ってきたが、これまでの説明で、市長は市民がどのように理解していると認識しているのか
- (2) 8月27日の防衛省からの説明を踏まえ、市として今後どのように対応するのか

2 地域経済の活性化について

- (1) 地域経済活性化の牽引役として期待される中核企業の創出を支援する環境を整備すべきと考えるがどうか
- (2) 持続可能な農業の確立に向けた取り組みについて
 - ア 後継者問題の解決に向けた取り組み状況はどうか、また、課題は何か
 - イ 農業経営における働き手の確保及び生産性向上を目指した農福連携について、どのように取り組んでいくのか

3 観光振興及び産業振興の拠点創造による地域活性化について

- (1) 他自治体における卸売市場の整備の進展について、どのように認識しているのか、また、秋田市卸売市場の規模適正化を含めた整備計画を策定し、早急に実施すべきと考えるがどうか
- (2) クルーズ船の寄港回数増加に伴い、観光客の増加が見込まれることから、観光振興におけるハブ機能を有した拠点づくりが必要であると考えらるがどうか
- (3) 秋田北/農/工/商共存型まちづくり構想について
 - ア 観光振興及び産業振興の拠点として、同構想を検討すべきと考えるがどうか
 - イ 「イオン外旭川開発計画を活かし秋田の再生を進める民間有志の会」が設立されたことについて、どのように認識しているのか

ウ 事業者から同構想の見直し案の提示があったときは、説明を聞き協議を始めるべきと考えるがどうか

4 防災・減災等について

(1) 大雨災害対応について

ア 昨年7月及び8月並びにことし5月の豪雨における住家・非住家の浸水被害、道路や公園等の冠水及び土砂崩れ等に対する復旧の進捗状況はどうか、また、被災箇所における今後の整備計画はどうか

イ 被災者支援として、床下浸水にも災害見舞金を支給できるよう支給基準の見直しを行うべきと考えるがどうか、また、床下浸水や非住家を対象とした水害廃棄物の収集運搬及び処理に係る基準についても緩和すべきと考えるがどうか

(2) 避難勧告、避難指示及び避難行動等について

ア 高齢者や障がい者など災害時要援護者への的確な情報伝達も含め、地域住民にとって実効性の伴う避難勧告及び避難指示の出し方を検討し、周知すべきと考えるがどうか

イ 避難支援対象者の「個別避難支援プラン」の策定に向けた課題及び今後の取り組みは何か

ウ 自主防災組織の結成率向上と防災訓練の充実に向けての課題及び対策は何か

(3) 空き家対策について

ア 周辺に危険を及ぼしかねない空き家の件数及びその状態はどうか

イ 国が進めている空き家対策の推進のための新規制度をどのように認識しているのか、また、空き家対策を今後どのように進めていくのか

5 雪対策について

(1) 克雪について

ア 人口減少、少子高齢化に伴い、どのようにして冬期間の市民生活の安全、安心の維持を図っていくのか

イ 都市機能を維持するため、当初予算にある除排雪関係経費のあり方を見直すべきと考えるかどうか

(2) 利雪について

ア 雪の持つ潜在的エネルギーの利活用を目指した、産学官連携での取り組みが必要と考えるかどうか

イ 雪を積極的に活用し、冬期間の魅力ある観光地づくりを推進すべきと考えるかどうか

6 食品ロスの削減について

(1) 本市が活用する国の「平成30年度市区町村食品ロス実態調査支援事業」の目的や調査内容は何か、また、分析結果をどのように生かしていくのか

(2) 食品ロス削減への取り組みについて

ア 食品ロス削減に向けた「もったいないアクション協力店」及び持ち帰り対応可能な飲食店等を今後どのように拡大するのか

イ 学校給食における食品ロス削減の取り組み状況はどうか、また、児童・生徒に対する食品ロス削減に向けた啓発をどのように行っているのか

ウ 消費期限及び賞味期限の正しい理解や食材の使い切りの啓発など、消費者行動の改善に向けた本市の取り組みはどうか

(3) フードバンク活動の継続に向け、本市はどのように支援するのか

1 イーリス・アショアの配備について

- (1) イーリス・アショアの配備候補地に近接する新屋勝平地区振興会から、本市に対し配備計画の撤回を国に求める要望書が提出されたが、住民の声に向き合い、明確な意思表示が求められる段階であることから、市として配備に関する判断をすべきと考えるがどうか
- (2) イーリス・アショアに係る住民説明会において、防衛省は、テロ攻撃や有事の際の避難などについては、国民保護計画に基づき当該自治体の責任において行われるべきとの見解を示したが、このことをどう受けとめているのか、また、秋田市国民保護計画を策定後、運用に向けた検証及び準備は行われているのか

2 危機管理体制について

- (1) 各市民サービスセンターに配備している非常無線システムの定期的な運用訓練はどのように実施されているのか、また、検証すべき点は何か
- (2) 今年度の秋田市総合防災訓練は悪天候により中止されたが、災害対策関連システム等による机上訓練は実施できたのではないか、また、そのような検討はなされなかったのか
- (3) 多額の費用をかけて設置している災害対策関連システム等については、操作の習熟訓練を兼ねて日常的に活用するべきと考えるがどうか

3 秋田犬ふれあい処 i n 千秋公園の見直しについて

- (1) 同施設を訪れた観光客からはどのような声が寄せられているのか
- (2) 今シーズンの事業内容について多角的な検証をした上で、抜本的な見直しが必要と考えるがどうか

4 泉・外旭川新駅（仮称）の危険性等について

- (1) これまでの説明では、ホームへの動線が地下道からの 1 系統しか想

定されておらず、犯罪を誘発する条件をつくり出すことになることから、そのような駅は建設すべきではないと考えるがどうか

- (2) 市が管理する地下道等の公共施設において、同様の構造を持つものを把握しているのか、また、そのような施設があった場合、早急に点検し、防犯上の対策に係る検討を行う必要があるのではないか

5 家庭ごみ処理手数料相当額の使途の見直しについて

- (1) 家庭ごみ処理手数料相当額の使途は、ごみ処理に係る経費に限定すべきであり、残りの全額を将来のごみ処理施設等の改修費に積み立てるべきではないか、また、そのために必要な条例の見直しを含めた検討を早急に実施するべきではないか

6 フッ化物洗口事業について

- (1) 同事業の検証は、児童、保護者及び専門家の意見を十分に踏まえたものとは言いがたい内容であるにもかかわらず、対象を中学生にまで拡大したことは問題ではないか
- (2) 市として同事業を実施するに当たり、外部の専門家の意見に頼るだけでなく、児童生徒の健康を考えた主体的な判断が必要ではないか、また、もしそれができない場合は、一度中止した上で十分な検討を行うべきと考えるがどうか

1 終活支援について

- (1) 身寄りのない方など、ほかに頼る人がいない方への終活支援について、本市の考え方はどうか
- (2) 横須賀市のエンディングプラン・サポート事業のような取り組みを本市でも行う考えはないか

2 予算の重点配分及び早期執行について

- (1) 千秋公園の再整備は、第2期秋田市中心市街地活性化基本計画の推進に合わせて行われることから、同計画の計画期間内に予算を重点配分し、整備を進めていくべきではないか
- (2) たび重なる自然災害により、道路の亀裂や陥没が至るところに見られるが、市民の安全安心を確保するためにも予算を重点配分して補修を急ぐべきではないか

3 泉・外旭川新駅（仮称）の整備等について

- (1) 総事業費は、地元要望の大きいトイレ等を含めても20億5,000万円以内におさまるのか
- (2) 同駅の建設に合わせて、市内全体のバス路線の調査・検討を行うとしていたが、その進捗状況はどうか
- (3) 同駅は交通結節点であることから、周辺の病院、観光施設などへの移動手段を確保すべきと考えるがどうか

4 新スタジアム整備について

- (1) 新スタジアム整備構想策定協議会及び同協議会専門委員会の現在の検討状況はどうか
- (2) 新スタジアムを防災機能も有する多目的スタジアムとする考えはないか

5 地域コミュニティのあり方について

- (1) 少子高齢化による共助の担い手不足の現状をどうとらえているのか
- (2) 地域コミュニティを維持するためには共助が重要であるが、市として共助の大切さをどのように伝えていくのか

6 職員の働き方改革について

- (1) 市長が平成28年11月にイクボス宣言を行ってから間もなく2年となるが、これまでどのような取り組みを行い、どのような成果があったのか
- (2) 市民サービス向上のため、職務内容によっては、土日を出勤日とし休日を平日に振りかえるなど、柔軟な勤務形態とすることを検討すべきと思うがどうか

7 データ放送の活用について

- (1) 市政情報やイベント情報などを市内全世帯により広く伝達するため、地上波テレビ放送のデータ放送を活用して発信する考えはないか

8 地域の諸課題について

- (1) 中通地区のきずなをより強固にするため、地区住民が集える場所を設ける考えはないか
- (2) 都市計画道路川尻広面線の事業の進捗状況はどうか、また、事業完了後の川反・大町地区のまちづくりをどのように進めていくのか

1 イービス・アショアの配備について

- (1) 地元住民の意思を尊重し、市長は明確に配備反対を意思表示するべきではないか

2 泉・外旭川新駅（仮称）について

- (1) 泉・外旭川新駅（仮称）は、平成33年の春に開業できるのか、また、それを可能とするスケジュールで事業は順調に進行しているのか
- (2) 当初想定した事業費で泉・外旭川新駅（仮称）を設置できるのか、また、住民から要望の大きいトイレと防犯設備は設置するべきと考えるかどうか

3 人口減少対策について

- (1) 秋田市まち・ひと・しごと創生総合戦略は、来年度で最終年度となるが、その進捗状況はどうか、また、今ある課題とその対応はどうか
- (2) 定住人口を増加させるための取り組みの成果をどのように評価し、今後どのような取り組みを実施するのか
- (3) 交流人口を拡大するためには、観光文化スポーツ部のみならず、各部が単独、あるいは連携して取り組まなければならないと考えるが、現在の状況と今後の方針をどう考えているのか

4 小中学校の学習環境について

- (1) 小中学校の普通教室にエアコン設置を進める考えはないのか
- (2) 小中学校のトイレの洋式化について、今年度で中学校においても洋式化率50%を達成する予定となっているが、来年度以降はどのように整備を進めていくのか

5 通学路の安全確保について

- (1) 子供の安全な通学を確保するため、通学路のブロック塀についても、

点検を実施するべきと考えるがどうか、また、倒壊のおそれのあるブロック塀については、その修繕費用を補助する考えはないか

6 都市計画道路泉外旭川線について

- (1) 現在事業が進められている都市計画道路泉外旭川線の進捗状況と完成の見通しはどうか

7 農業の担い手について

- (1) 秋田県立金足農業高等学校が注目されているこの時を好機ととらえ、若い人にも広く農業に関心を持ってもらい、就農につながるよう新たな取り組みを実施してはどうか

8 仲小路へのアーケードの設置について

- (1) 中心市街地のにぎわい創出の観点から、仲小路へのアーケードの設置を市において積極的に進めていくべきではないか

1 異常気象新時代における本市の対応について

- (1) 本市の各危険区域内の世帯数はどれくらいか、また、当該世帯に普段から目につくところにハザードマップや対応マニュアルを掲示するよう指導してはどうか
- (2) 想定される災害に応じ、危険想定区域であることがわかるシールや想定浸水深メートル数を記したシールなどを作成し、危険区域内全世帯に配付してはどうか
- (3) 洪水ハザードマップの浸水想定水深の色と単位を統一すべきではないか
- (4) 土砂災害への注意が必要な避難施設は除外すべきではないか
- (5) 防災教育の中で、正常性バイアスや水平・垂直避難を習熟させるべきではないか
- (6) 小中学校における熱中症測定機器の活用や設置実績はどうか、また、今後の設置予定についてどう考えているのか

2 平成30年度秋田市総合防災訓練について

- (1) 本庁舎だけでも実施することはできなかったのか、また、延期ではなく中止でよかったのか

3 職員の働き方について

- (1) 職員の出退勤時間をはっきりと把握しないのはなぜか
- (2) 担当者不在時の問い合わせに対する職員の対応をどう考えているのか

4 旧県立美術館について

- (1) 千秋美術館、岡田謙三記念館または佐竹史料館のいずれかを旧県立美術館に移すことを検討すべきと思うがどうか
- (2) 旧県立美術館の名称は、市民から公募するなどして決めてはどうか

5 市民歌について

- (1) 「秋田市民のうた」について市はどう考えているのか

6 「にぎわい」創生について

- (1) 「なにもない秋田」からの卒業に向けた本市の取り組みはどうか
(2) 「リノベーションまちづくり」についてどう考えているのか

7 虐待情報の取り扱い等について

- (1) 昨年度、本市に寄せられたそれぞれの虐待情報とその対応はどうか
(2) 児童虐待の相談窓口を本庁にも設けるべきではないか

8 健康づくり等について

- (1) 本市の軽度者向け介護サービスの運営状況はどうか
(2) 統合医療を含め、本市の健康寿命延伸に向けた取り組みの具体は何か
(3) 市民が健康リテラシーを学ぶ機会を設けるべきではないか

9 市立秋田総合病院について

- (1) 市立秋田総合病院に対する市民の評価をどうとらえ、どのように新病院に生かすのか

10 子育て交流ひろばについて

- (1) 終了時間、休館日及びホームページを統一するなど、利用しやすくするとともに、利用対象者について柔軟に対応すべきではないか

11 教育について

- (1) 「9歳の壁」に対する認識と実施している対応策はあるのか、また、必要に応じて補習授業などを実施すべきではないか

12 公共施設整備について

- (1) 上下水道事業の公設民営化について検討してはどうか
- (2) 秋田市中心卸売市場及び秋田市公設地方卸売市場の将来について、
どのように検討しているのか
- (3) 本市における「身の丈にあったインフラ」の姿をどう描いているのか

1 市長の政治姿勢について

- (1) 来年は市長３期目の後半に入るが、今後の市政運営をどのように考えているのか
- (2) 市勢の発展を目指す上で長期的な課題は何か
- (3) 新たな市政課題に対してどのような体制づくりをして臨んでいくのか

2 国際教養大学について

- (1) 同大学と本市のかかわりについて、具体的にどのようなものがあるのか、また、新たなかかわりについて考えていることはあるのか
- (2) 同大学に附属高等学校の設置を要望する考えはないか、また、御所野学院高等学校を同大学の附属高等学校に移管することはできないか

3 専決処分の対応について

- (1) 地方自治法第180条第１項の規定に基づく専決処分の指定事項の内容に対する認識はどうか
- (2) 議会の議決を経て締結した工事等において、1,500万円以下の金額で増額補正する専決処分が散見されるが、工事発注時等に変更契約理由に挙げられる事態を予見できないのか
- (3) 軽易な交通事故の専決処分は除き、慰謝料等の支払いなど特殊な事案に関する専決処分については、所管の常任委員会に積極的に報告があつてしかるべきと思うがどう考えているのか

4 異常気象による小中学生の熱中症対策等について

- (1) 小中学生に対する熱中症対策はどのように行っているのか
- (2) 小中学校に積極的に冷房設備を設置すべきと思うが、現時点で小中学校への冷房設備の設置を検討しているのか
- (3) 最近、県央部で女子児童が連れ去られる事件が発生したが、教育委

員会としてどのように対応しているのか

5 市町合併の成果について

- (1) 市長は、旧雄和町・旧河辺町との合併の成果をどのように評価しているのか
- (2) 市民は、市町合併の成果をどのように評価していると感じているのか
- (3) 雄和・河辺地域の両市民サービスセンターでは、旧町時代よりも市民サービスが低下していると思うがどうか、また、現在配置している職員数は適正と考えているのか

6 災害対策について

- (1) 治山治水は首長の最大の責務の一つと思うが、認識と取り組みはどうか
- (2) 自然災害は、たとえ想定外であったとしても、被災者にはできる限りの対応が必要と思うが、復旧に対する備えは万全なのか
- (3) 災害発生時及び被災後の迂回路を含む道路状況の把握に、地元の町内会や自治会、消防団の力を活用すべきと思うがどうか

7 本市の活性化のための居住促進について

- (1) 本市の活性化には、移住・定住の促進にさらに注力すべきと思うがどうか
- (2) 市民の居住環境の向上を図るためにも、住宅リフォーム支援事業の補助金を増額して、居住者確保の一助とする考えはないか
- (3) インフラが整備されている市街化調整区域においては、これまでの住宅建築の規制をさらに緩和すべきと思うがどうか

8 学校給食について

- (1) 学校給食に地元の食材使用を提案したことがあるが、その後の使用状況はどうか、また、地元の食材使用には、数量の確保や納期に課題

があるとのことだが、解決策はどのようなになっているのか

(2) 学校給食に地域ごとによる特色があってもよいと思うがどうか

9 高齢者が絡む交通事故や詐欺被害への対策について

(1) 高齢者に対する交通事故防止の取り組みはどのように行っているのか

(2) 高齢者に対する詐欺被害防止の取り組みはどのように行っているのか

10 地域の諸課題について

(1) 光回線の未整備地区の解消を事業者に働きかけるべきと思うがどうか